

おごせ 議会だより



6月定例会

平成と共に歩んだ越生町議会 そして令和へ	P2
賛否表	P4
町政を問う(一般質問)	P5

2019.8 No.170

写真:越生小学校運動会

越生町議会 令和へ

主な事業・出来事
町制施行100周年記念事業 町民憲章制定 第1回越生まつり開催
人口13,000人達成(12月) 議員定数削減 20人から18人に
ゆうパークおごせ完成 議員定数削減 18人から16人に
水道膜ろ過施設竣工 人口14,000人達成(10月)
地域交流センターオープン
町内小中学校2学期制が始まる 議員定数削減 16人から11人に
越生町のマスコット 「うめりん」誕生
越生町子ども議会開催 空き家バンク制度開始
ハイキングのまち宣言 女性消防団員誕生
広域静苑組合越生斎場新設



祝 町制施行100周年記念式典



ゆうパークおごせ



「うめりん」誕生



子ども議会



越生町ハイキングのまち宣言式典

6月 定例会

令和元年第2回定例会は、6月5日から7日までの会期で開催されました。町長から提出された案件は、専決処分の承認4件、条例改正3件、一般会計及び介護保険事業特別会計補正予算2件でした。慎重審議の結果、承認・可決しました。一般質問では、9名の議員が登壇、町政に関する質問を行いました。

平成と共に歩んだ そして

年	一般会計 年度当初予算	議員定数	一般質問者数 ※1	傍聴者数	総人口 ※2
平成元年	29億5,300万円	20人	5.2人	66人	12,528人
平成3年	33億1,700万円	18人	6.5人	—	12,884人
平成7年	39億7,600万円	16人	6.0人	—	13,656人
平成10年	42億2,000万円	16人	4.0人	89人	13,960人
平成15年	41億3,300万円	16人	6.7人	161人	13,983人
平成19年	34億5,600万円	11人	5.7人	104人	13,421人
平成22年	37億2,300万円	11人	5.0人	91人	12,947人
平成25年	40億300万円	11人	9.2人	109人	12,537人
平成28年	40億800万円	11人	10人	173人	12,032人
平成30年	43億1,500万円	11人	8.7人	144人	11,727人

※1. 一般質問者数は、年4回の平均質問者数

※2. 総人口は、住民基本台帳における4月1日の人口

専決処分の承認

越生町税条例等の改正

賛成全員 承認

越生町国民健康保険税条例の改正

賛成多数 承認

越生町介護保険条例の改正

賛成多数 承認

越生駅待合所ほか新築工事の施行に関する変更協定の締結

J Rとの協定金額を1157万3千736円減額し、1億755万5千264円とするもの。

賛成全員 承認

条例の改正

職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の改正

賛成全員 可決

越生町税条例の改正

賛成全員 可決

越生町水道事業給水条例の改正

賛成全員 可決

補正予算

令和元年度越生町一般会計補正予算

正予算

「平成31年度越生町一般会計予算」の名称を「令和元年度越生町一般会計予算」とし、元号による年表示も「令和」に読み替え、既定の予算に歳入歳出それぞれ、1315万7千円を増額し、総額を40億8215万7千円とするもの。

賛成多数 可決

令和元年度越生町介護保険事業特別会計補正予算

「平成31年度越生町介護保険事業特別会計予算」の名称を「令和元年度越生町介護保険事業特別会計予算」とし、元号による年表示も「令和」に読み替え、歳入の保険料を545万4千円減額し、繰入金を545万4千円増額するもの。総額は、10億7802万6千円に変更なし。

賛成多数 可決

6月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、議は議長

議案番号	件名	議員氏名									審議結果	
		宮崎正人	岡部安雄	池田かつ子	金子公司	水沢努	木村正美	宮島サイ子	新井康之	宮崎さよ子		浅野訓正
承認1	専決処分の承認を求めることについて(越生町税条例等一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
承認2	専決処分の承認を求めることについて(越生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
承認3	専決処分の承認を求めることについて(越生町介護保険条例の一部を改正する条例)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
承認4	専決処分の承認を求めることについて(越生駅待合所ほか新築工事の施行に関する変更協定の締結について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
18	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
19	越生町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
20	越生町水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
21	令和元年度越生町一般会計補正予算(第1号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
22	令和元年度越生町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

町政を問う！

6月議会では9名の議員が登壇しました。
全質問事項は下記のとおりです。

1 宮崎 さよ子 議員

- ① 喉頭摘出者への発声支援について
- ② 町の街路樹の整備・美化について
- ③ 信号機設置の取り組みについて（早急に信号機設置の取り組みを）

2 木村 正美 議員

- ① 町内での交通安全対策を聞きます
- ② 土砂崩れの危険性と対応策は
- ③ 無人のJR越生駅利用者の声を聞いて

3 宮崎 正人 議員

- ① 越生町の未来について

4 水沢 努 議員

- ① 地域おこし協力隊の募集を行うべきだ

5 岡部 安雄 議員

- ① 合併を選択しないまちづくり

6 宮島 サイ子 議員

- ① 越生町の新生活運動についての見直しを
- ② 高齢者へゴミ出しの支援を
- ③ 農業用ため池の適正管理と防災対策は

7 金子 公司 議員

- ① 越生駅西口整備事業について
- ② 獣害について

8 新井 康之 議員

- ① 民法の大改正に対する対応は
- ② 援農ボランティア制度の創設を

9 池田 かつ子 議員

- ① 災害時の町の対応について
- ② スクールワゴンの利用状況
- ③ 教職員の労働時間把握のための出退記録の実施について

記載した本文は、質問した議員本人の責任で要約し執筆した原稿をそのまま掲載しています（別掲の議員名を付した文章も、全て同様の扱いです）。

全文は、図書館等に置いてある会議録か、インターネット（越生町ホームページ内「会議録検索システム」）で閲覧することができます。

喉頭摘出者へ

発声支援の充実を

宮崎 さよ子



問 喉頭摘出者への発声に、最近シャント発声法が目されている。①喉頭摘出者の把握は。②発声方法に対して町の支援の現状は。

答 ①喉頭摘出者は7名。②6名に電動式人工喉頭を支給している。

問 シャント発声法の手術は保険適用だが医療器具は保険適用外で毎月2万円位かかる。県内でシャント発声の「埋込型人工喉頭用人工鼻」を給付の対象としている自治体はあるのか。

答 11市町が給付している。和光市、所沢市、朝霞市、

宮代町等は月額2万3100円を給付している。

問 今は2人に1人が癌になる時代。50代以降に多い喉頭がんや食道がん等で喉頭摘出者に、先々、シャント発声の支援が必要ではないか。「埋込型人工喉頭用人工鼻」を「障害者の日常生活用具」と認め、給付対象としたらどうか。

答 質問は重く受け止めている。先々、研究して検討を重ねていく。

問

街路樹の整備・美化について①大きく育った樹木は根が大きくなり、歩道のアスファルトを盛り上げ歩行者に危険だが把握はしているのか。②その危険箇所を今後どう考えているのか。

答 ①上野東は武州唐沢駅東側駅前2箇所、越生東は13箇所、黒岩は1箇所が危険。②上野東は今年度、歩道の補修を行う。他は優先順位を付け、随時修繕を行う。維持管理コスト低減を図るには、街路樹の維持

答

管理剪定及び維持管理指針の作成は必要ではないか。作成は考えていない。剪定、撤去、更新など随時見直しを行い進める。



無人化されたJRの利用法は 土砂災害の危険性と対応策は

木村 正美



問 越生駅東口が開設されて利便性が向上した反面、JRの無人化は利用者から戸惑いの声が聞かれる。①無人化での不満や要望は。②ゴミ箱設置は。③ICカードのチャージ機の設置要望は。④カード残額不足の対処は。⑤新しい施設のプランは決定したか。

答 ⑥意見募集中の決定は矛盾していないか。⑦意見書に住所氏名を記入する理由は。⑧駅舎の調査及び、文化財・観光資源としての保存・活用への要望対応は。⑨観光協会事務所移転後の業務内容は。⑩不採算路線のJRの省力化・合理化の方針を承

諾せざるを得なかった。①窓口業務の閉鎖、ICカードの利用法、払い戻し、車椅子利用など。②ゴミ増加の原因となる。③無人駅には設置しないのがJRの方針。設置要望は継続。④精算・チャージをしないと次回使えない。⑤4社提案、1社を選定。⑥意見は設計段階で反映。⑦責任ある意見提出とそれに対する礼状。⑧意見は全て目を通した。決定通りに進める。⑨年末年始以外無休で、案内など無人化の補完に努める。

問 黒山、小杉で土砂崩れ、落石事故が発生した。梅雨入り前に安全・安心対策を聞いた。①小杉の落石の検証は。②業者指導はどんな内容か。③事故後の説明会の意見反映状況は。④災害発生時期の対応は。⑤五大尊花木墓苑は無数の穴を掘るが、浸透雨水からの地滑りの危険は。

答 ①露出岩石の一部が崩落、造成の影響大。②電話やメールで情報交換、早期の完成を要望。③反映されていない意見は、今後も改善指



鉄道遺産・観光資源の消失が近い

越生町の未来について

宮崎 正人



問 越生町に住みたくさせるには、他にはない住民サービスが必要。

答 18歳までの子どもの医療費無料化、地域交通対策事業によるタクシー・バスの利用助成事業、五大尊花木墓苑の樹木葬事業は、県内初の住民サービス。最大の魅力

問 ポイントは、子育て支援から高齢者福祉、終活にいたるまで、全国的にみても先進的・魅力的なまちである。

答 災害が少なく、自然や観光資源にも恵まれ、病院や診療施設も近隣に多くあり、高齢者には住みやすい町である。定年を迎えた世代を

受け入れるなど、他の市町村とは違う思い切った発想の転換が必要。町の構想・考えは。人生100年時代と言われる昨今、元気な高齢者にフォーカスを当てる事は重要。同時に越生の将来を担う子供たちへの手厚い支援も行い、バランスのとれたまちづくりを進めていく事が肝要。

問 商店をどう活かしてゆくの、商業の現状と今後の活性化の対策は。

答 町内事業者は後継者不足等により、衰退傾向が

続いている。商工会の加入者は、平成31年3月末日時点ですら393名と厳しい状況にある。商工会では、平成25年から買物弱者支援事業を実施。スタンプ会や、やるっ気クラブを立ち上げ、組織力を活かして積極的に活動している。

問 今後の梅園地区の観光構想とは。

答 越生梅林から黒山三滝までを結ぶラインに点在する観光施設等を整備し、指針となる越生町新観光整備計画を平成30年度に策定した。



黒山地区のオブジェ

計画を基に整備を進め、観光協会と連携を取りながら、観光情報を町内外に広く発信する。

導。④県で定期的巡回パトロール。⑤防止対策は施した。

越生町も地域おこし協力隊の募集を行うべきだ

水沢 努



問 越生町が地域おこし協力隊の対象地域となった理由は。

答 これまで「3大都市圏の都市地域」に位置づけられていたので対象地域でなかったが、平成17年から平成27年の人口減少率が11%以上だったために、本年度から対

象地域となった。

問 町は総務省が推進するこの制度についていかなる見解を持っているか。

答 制度が創設された平成21年度の隊員数は全国で89名だったが、平成30年度は5359名になっており、この制度が地域活性化の一助と

して有益であると考え。募集をぜひ行うべきではないか。

答 特別交付税措置の対象となるため、様々な事業プロセスを整えてからの実施ということになる。制度の運用について研究を進める。

問 協力隊の6割はそのまま定住するという。町への移住促進をめざす上で、有効な事業ではないか。

答 総務省によると活動した市町村で定住した人が48%。近隣市町村に定住した

人が14%になる。また約3割は起業しているという。移住促進や地域活性化への効果が期待できる。

問 デジタル技術者を募集し、Web管理やデザインを任せたらどうか。観光協会との連携も考えられる。協力隊の収入を補う仕事との両立もしやすいと思うが。

答 デジタル技術者によるWeb管理、SNS発信やデザインなどにより、町や観光協会の情報発信を担ってもらえれば有益なものとなる。



総務省の作成した地域おこし協力隊のリーフレット

合併しないまちづくり

岡部 安雄



問 町の合併をどのような理由で検討しないのか。

答 平成の大合併は平成13年3月に埼玉県が「市町村合併推進要綱」を作成し合併に向けた動きが始動した。越生町も平成14年2月に職員による合併問題研究会を組織し、同年8月から越生町、毛

呂山町、鳩山町の担当課長が集まり、定期的な情報交換を行っていた。平成15年10月になると、町民2000人を対象に「市町村合併に関する住民意識調査」を実施した。合併に賛成が32・6%、中立が31・8%、反対が26・1%と三様の結果であった。任意に

3町の首長・議長による会議なども開催されて、当時は合併の検討を重ねた経緯があるが、その後、平成22年3月に合併特例債などのインセンティブが終了したことから、合併の機運が下火となってしまった。将来的に、国が再び市町村合併に舵をきることもなれば、新たな視点で、判断を求められる時代が到来することになるのではないかと。

問 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合の構成町である毛呂山町は都市計画税を

課税している。(公共下水道事業に多額の町負担をしていることから)町も都市計画税を課税する考えはないか。

答 都市計画税は都市計画事業、土地区画整理事業などの費用に充てるための目的税である。県内では40市全と5つの町で課税している。毛呂山町も昭和49年から導入している。越生町としては、越生東・上野東の土地区画整理事業は終了していることから、これから都市計画税を導入していくことは大変難しい

と考える。

平成の大合併 (市町村数推移)			
	合併前	合併後	
全国	3,232	1,718	-47%
茨城県	85	44	-48%
栃木県	49	25	-49%
群馬県	70	35	-50%
埼玉県	92	63	-32%
千葉県	80	54	-33%

新生活運動の香典の金額範囲の見直し及び改正は

宮島 サイ子



問 越生町の新生活運動の見直しを。①越生町本来の新生活運動の趣旨は。②最近では家族葬なども多くなっているが、越生町の状況は。③越生町の過去5年間の新生活運動の利用者はどの程度か、創設時と比較してどうか。④新生活運動の香典の金額範囲の見直し及び改正は。⑤新生活運動の協力者に助成金の再交付を。

答 ①平成元年から始めた。当時、派手になりつつあった葬儀に、簡素で無理のない現代生活に適応したものにするため、自主的な申し合わせ事項を定め、町民すべての会葬者を対象に始められた運動。②近年、家族葬だけでなく直葬という形態も増えてきている。③創設時には80%の実施率だったが、過去5年間は61%で19%の減となっている。葬儀形態の多様化が要因と考えられる。④香典3千円以内という金額の見直しは考えていない。⑤実施率は高く、今後も補助金の必要性はないものと考えている。

た運動。②近年、家族葬だけでなく直葬という形態も増えてきている。③創設時には80%の実施率だったが、過去5年間は61%で19%の減となっている。葬儀形態の多様化が要因と考えられる。④香典3千円以内という金額の見直しは考えていない。⑤実施率は高く、今後も補助金の必要性はないものと考えている。

ついてどのような考えを持っているか。②今後の支援策などはあるか。
答 ①埼玉西部環境保全組合構成市町と連携し、足並みを揃えて対応を検討していく必要があると考えている。②現在実施している支援策の現状を把握し、問題点等を解決しながら、より良い制度の運用を検討してまいりたい。

問 農業用ため池の適正管理と防災対策は。

答 今年度、防災重点ため池についてはハザードマップ作成を計画している。



西口整備は周辺施設と一体で 獣害対策について

金子 公司



問 西口整備事業は、観光案内と待合機能を持つおもてなし施設として、整備計画されているが、おもてなしにはどのような事が必要か。

答 町の第一印象を抱く場所と言える。黒山三滝や越生梅林などの観光案内、ハイカーへのルート案内、さらには移住・定住に向けた簡単な紹介など考えている。ハイカーなど休憩できる待合機能には、西川材と越生の建具の使用など検討する。

問 西口整備に関するアンケート調査で、どのようなアイデアや意見があり、今後どう活用するか。

答 4月19日から5月31日までの期間で41件の意見が寄せられた。木造建築、コインロッカー、シャワーなどの施設、駅舎を残すなどのアイデアや意見をいただいた。おもてなし施設として実現性のあるものは、今年度の設計業務の中に反映したい。

問 同様の施設やサービスが近隣に存在すると、人件費など維持管理費が二重にかさむため、施設の再配置や統合など必要ではないか。

越生駅西口駅舎



問 平成30年6月に役場職員が取りまとめた「越生駅駅舎在り方検討報告書」では、駅西口周辺施設の重複を避け効率的な運営となるよう記述されている。観光協会、事務所が西口施設に移転し、より細かな対応が図られる。

答 が、連携はとれているか。毛呂・鳩山・越生の猟友会で情報交換している。

民法大改正に万全を期せ 援農ボランティアの創設を

新井 康之



問 平成29年に民法が大改正された。今回の改正は財産法特に債権法を大きく改正するものだ。施行は令和2年4月1日で猶予は1年もない。このうち重要な改正事項は消滅時効、法定利率、保証、債権譲渡等だ。当町も民法が対象となる事務を多く扱って

答 いる。従って次の事項を伺う。
①重要な改正事項中、当町の事務にどのようなものに影響がでるか。またその対応又は対応方針ができているのか。
②この他債務不履行・契約解除、売買・請負における担保責任、危険負担、相殺等の改正があり、町の職員は改正の

内容をよく理解しておくことが重要だ。事前に研修等を行い、十分な理解を得られるように万全を期すべきではないか。

答 ①一部既に改正内容に対応している事務もある。参考に、町の約款を作成している。県が改正した場合は、内容を確認し随時対応する。
②ご指摘の通り、改正法を理解することは大変重要で研修会等に担当職員を参加させる。越生町の農業は高齢化や人手不足が課題となつ

ている。特に6月は梅の収穫期で各梅農家は何とかやりくりしているのが実情で、多品種の農家も同様だ。このような農業の課題解決に取り組むため、援農ボランティア制度の創設を提案する。

答 援農ボランティア制度は、人手不足に悩む農家と農業に親しみたいという人を町が仲介して結び付ける制度だ。良い制度だと考えるので、農業委員会やJAいるま野越生支店梅部会、柚子部会等の農家の皆様のご意見をお



梅の収穫

災害時町民に寄り添う対応を 教職員の業務改善策を

池田 かつ子



問 4月10日の停電当日の町の対応は。

答 町民の問い合わせのため、防災行政無線1回とメールを送信し、午後10時過ぎに町内を巡視した。

問 原因もわからず暗くて寒い中、4〜5時間の間

答 町民は不安な思いでいたが当日の対応から改善すべき点は、停電の場合、職員が詰めてもそんなに対応することはない。東電とさらに連絡を密にし、得られた情報は速やかに町民に配信する。

問 越生町は、指定校変更制度を導入しているが、

その理由は。

答 梅園小学校の児童数確保のため。

問 スクールワゴン導入のいきさつは。

答 梅園小学校の児童数が減り、山間部へ登下校する児童の安全確保のため。

問 スクールワゴンの利用希望者が今後さらに増えた場合の対応は。

答 現在1台2便制で運行している。子どもたちが増えた場合は、財政部局と相談して考えていきたい。

問 教職員の勤務時間の状況は。

答 勤務時間を除く在校時間、越生小学校34時間、梅園小学校27時間、越生中学校53時間。休憩の取り方は。

答 休憩の取り方には困難さを感じている。休み時間、放課後を設定。授業後のトイレ休憩や職員室での一息のため、タイムカードやICカード導入はいつか。

答 町村会一括購入予定で来年度稼働できるよう進んでいる。



梅園小を出発するスクールワゴン

顔の見えるまちおごせ 第27回 黒山を拠点に人々のつな がり紡ぐ全国ツアーへ

昨年、黒山に移住し、ユニークなスタジオを開設。ピアノリストとして全国そして海外を舞台に演奏活動を行うKunikiko（中村久仁子）さんに聞きました。

「個人の尊厳が第一」

★なぜピアノリストを志望

昔は体育会系女子でした。中学校1、2年の200m走の記録はまだ破られていません。周囲は体育推薦で進学すると思っていました。私も幼



音×恩おくりプロジェクトの松澤さんと

少期からピアノは習っていたが、音楽の道に進む気はありませんでした。でも音楽指導者の小山貞子先生との出会いで人生が大きく変わりました。自分の才能を信じて音楽の道を進んでいかないと、言葉に、私は音大付属の高校進学を決心しました。

★再び人生を変える出会いが

3年前に私は、心身ともに限界を感じ、演奏活動の断念さえも考えていました。そんな時に再び人生を変える出会いがありました。中学時代、生徒会の後輩だった松澤亜希子さんと再会したのです。彼女はプロのメンタル・トレーナーになっていました。松澤さんのコーチによるメンタルと身体トレーニングにより私は回復。そればかりか、彼女といっしょに「音×恩おくりプロジェクト」を結成し、新たな活動を開始することに

音×恩おくりプロジェクト ピアニスト Kunikiko



★新たな活動では何を

この3年間の集大成は、8月1日の越生町でのコンサートを皮切りに全国ツアーを行うこと。目的はピアノ演奏を通じて、人との出会いの大切さを伝え、たくさんの人とながらることです。人々のつながりがこそが平和の原点であり、日本人の忘れつつある美德だと思うからです。プロとアマチュアがつながる。地域と世界がつながる。過去と未来がつながる。それは地域活性化の原動力にもなります。

最後に。越生町に移住したおかげで最高の日々が。沢のせせらぎや小鳥のさえずりをバックにピアノを弾く至福の時間を堪能しています。

アドバイザー後記

今定例議会では、越生駅西口駅舎の問題が大きく議論されました。東口が立派に開設されましたが、商業施設は西口が中心です。ハイキングの町で、観光客を呼び込もうとしている中、ハイキングの町にふさわしい、また古い町らしい駅舎の建設が、期待されます。議会では毎回質疑が活発に行われておりますが、議員の任期が、7月末で満了しました。議員は、代弁者として、行政との議論を展開し、少しでも、越生町が住みよい町となるよう切磋琢磨しております。議会だよりも、また新たな議員のもとに、町民の皆様が愛されるよう取り組んで頂きたいと思っております。

アドバイザー
議長 浅野 訓正

編集後記

令和最初の議会となった本定例会は、越生駅西口駅舎の新設などをめぐり、活発な9名による一般質問があり、各議員が町民の代表として、様々な要望、提案、意見など、町の未来について発言がありました。

少子高齢化と人口減少が進む中ではありますが、小さな町であっても行政、町民、議会と議論する事で、次世代に繋げる新しい令和の時代に未来の越生町が見えてくる事が肝心です。
越生町議会一同次世代の為に奮起します。

委員長 宮島サイ子
委員 金子 公司
宮崎さよ子
木村 正美
水沢 努
池田かつ子
岡部 安雄
宮崎 正人

アドバイザー
議長 浅野 訓正

6月定例会の傍聴者数

本会議	傍聴人数
6月 5日(水)	1
6月 6日(木)	7
6月 7日(金)	15
合計	23